

令和7年1月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 1 月定例会

2 開 催 日 時

令和 7 年 1 月 1 5 日（水） 9 時 0 0 分開会 9 時 5 8 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 3 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、古澤教育長職務代理者（委員）、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

牛嶋教育部次長兼生涯学習課長、佐藤教育総務課長、井手学校教育課長、立石学校給食課長兼学校給食センター所長、権藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事、西木教育総務課長補佐兼総務係長、岡本学校給食課長補佐兼学校給食センター係長、中溝生涯学習課図書係長

7 傍 聴

1 人

8 経 過 報 告

1 2 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

1 2 月定例会の議事録承認

【承認】

10 協議報告事項

(1) 教育プランの進行管理について

(2) 子ども読書活動推進計画に係る読書アンケート調査結果について

11 議案

臨時代理報告第1号 事務局職員の人事について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会2月定例会 令和7年2月19日（水）9時00分から

○佐々木教育長

ただいまから教育委員会 1 月の定例会を始めます。それでは事務局より経過報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局から報告が終わりましたが、ご質問等ありますでしょうか。無いようですので次に進みます。議事録承認について、今回は 12 月の定例会の議事録を事前にお配りしております。内容等の修正等ありますでしょうか。無いようでしたら、12 月定例会の議事録について御承認いただくということでよろしいでしょうか。

○各委員

異議なし

○佐々木教育長

誤字等の修正がある場合は事務局への御連絡をお願いします。それでは協議報告事項に入ります。令和 6 年度鳥栖市教育プラン、第 3 四半期の進行管理について事務局からの報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○牛嶋教育部次長兼生涯学習課長

(資料に基づき説明)

○井手学校教育課長

(資料に基づき説明)

○立石学校給食課長兼学校給食センター所長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの報告が終わりましたが、何か御質問等ありますでしょうか。

○古澤委員

「教育環境」に関する説明の中で、教職員の時間外が 100 時間を超えた方が 11 名というご説明がありました。これは第 3 四半期の中で連続して 100 時間を超過した人がいるということでしょうか。またその原因と対策を考えてあるかどうか併せてお聞きしたいと思います。

○井手学校教育課長

第 3 四半期の中で同じ者が複数月繰り返して 100 時間を超えているかということまでは確認できておりません。ただ傾向としては、管理職、特に教頭は連続して 100 時間を超えたことが過去にありました。産業医の面接については、管理職から対象職員へ面接を勧めておりますが、面接実施者は 0 となっており、本人は体調が悪い

わけではないからということで、面接を断っているケースが全てであります。委員からお尋ねのあった原因と対策としては、第三四半期は10月、11月は行事が多いこと、コロナ禍が終わってから様々な行事が戻ってきていること、またいじめや問題行動等があり一つ一つの事例が大きくその事案の終息にかなり時間を要したことが原因として報告があっております。また中学校においては、文化発表会の準備にかける時間が長く退勤が遅くなる職員がいた。また、生徒会選挙に向けた準備で遅くなっている職員がいたというような報告があっております。学校としても働き方改革にはかなり力点を置いて対策を行っているところです。時間外勤務は減少傾向にはありますが、特定の者に業務が偏っている状況は否めないところです。

○古澤委員

産業医面談の対象者から体調が悪くないからということで、自ら断っている実態があるという御説明がありましたが、基本的に面談の対象者にリストアップされた場合には、他市ではそれを個人の都合で受けないということは考えられませんでした。該当者は必ず受けさせるようにしないと、何かあったときには説明が付かないので産業医面談の該当した方たちは、否応なしに受けさせるということが安全管理の基本かと思いますので、本人の仕事の都合もあると思うのですが、健康に関わる場所でもありますので今後考えていただいた方がいいと思います。

○佐々木教育長

長時間勤務者への産業医面談の問題については、再度確認して管理職等の共通理解を図った上で、今後取り組んでいくようにお願いします。また私からも1点質問をよいでしょうか。「健やかな体」についての説明の中で、体力向上プランの作成が完了し、プランに基づいて取組を実施中ということでしたが、これまでに体力向上プランの作成されたものについて特徴的なものがあれば、ご紹介ください。

○榎藤学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

特徴的なものとして、体育委員会主催で、ドッジボールやドッジビーの大会を実施しているというところが特徴的かなと思います。

○佐々木教育長

他に御質問等ありますでしょうか。それでは令和6年度教育プランの進行管理の各事業の取組状況の報告について御了承をお願いします。今後最終の3か月になりますので、引き続き取り組みを進めていただくようお願いします。それでは次に子ども読書活動推進計画に係る読書アンケートの調査結果についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

○牛嶋教育部次長兼生涯学習課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局より説明が終わりましたが、何か御質問ありますでしょうか。

○古澤委員

アンケート項目の「図書室へ行かない理由」という部分で、「本を読みたいと思わないから」という回答が多くこれがポイントではないかと思っています。子どもたちは読書に関心がなくなっているのではないかと危惧しておりまして、それには家庭環境も大きく影響するかなと思っています。家に本がたくさんあること、もしくは保護者の方が少しでも読書してる姿を子供たちに見せていることや、読書について親子で話をする事で子どもたちの読書に対する認識も変わるか思います。調査の在り方として、今回のような調査も大事ですけど、今後これをどのようにしたら、子ども達が読書に関心を持てるだろうかというところで、家庭での読書環境についても探っていくことも検討いただければと思います。

○牛嶋教育部次長兼生涯学習課長

図書館としても家庭での読書習慣についても、推進していく必要があると思っています。また来年度からはブックスタート事業を開始しようと現在準備を進めているところであります。生まれたときに絵本をプレゼントすることによって、もらった方については、読み聞かせをされるでしょうし、絵本を子供に与えれば子供もその絵本から少しでも読書の習慣が付くだろうと考えております。そういった事業や委員からの指摘でありました、保護者の家庭での読書習慣についても調査して探っていければと考えております。

○大石委員

これだけICT化が進んでいく中で、どうしてもスマートフォンやタブレット、ゲーム機など、子供たちがそういうものに触れる機会が増えていることで、手軽に情報が得られる状況にあって、なおかつ今の時代の流れとしては、短文で情報を得ようとする傾向が強いので、長い文章を読むことに抵抗を感じているのではないかなと感じているところです。本を読むことで、読解力を得ること、文章の流れや全貌が見えるようになることはとても大事なことで、子ども達に多く本に触れてもらいたい気持ちがありますが、今回のアンケートの結果などを見ていると子供たちが読みたい本が少ないことも問題かなと思います。自分の学生時代を思い出してみると、推理小説などその時流行っているものをよく読んでいました。そういう子供たちが食いつきやすいような本を置くとか、漫画本を置いているところもあって、どういう漫画が適切か分かりませんが、図書館に通わせるきっかけとしてどういうことができるか考えることで、いろんな気づきも出てくると思いますので検討していただけたらと思います。

○佐々木教育長

学校教育の立場から、学校教育課長何か御意見ありますでしょうか。

○井手学校教育課長

私が学校現場にいたときにも、先生によってはただ単に「図書館へ行きなさい」と

か「好きな本を選んで読みなさい」とだけ言って、あまり関与しないケースもありました。しかし中には、子ども達に自分の記録カードをつくらせて、昨年、一昨年と比較して読書量やどのような本を読んだのかということ、きちんと子供たちに自己評価させる先生もいますし、ブックトークやビブリオバトルといった催しを学級や学年で実施することで、読書への関心を高めるための取組をされるような先生方もいます。やはり大石委員もおっしゃる通り今の子ども達はなんでもスマホやタブレットで情報を得ていて、文章をスマホが読み上げてくれる機能もあるので活字を追うことをしなくてよくて、好きな本でも全て音声で、耳から入ってきて、いつまでも読み聞かせを受けているような状況があるのかなと思います。ですので学校ではあえて活字を読んで、きちんと情報を頭に入れることをやっていかなければいけないし、子ども達をただ図書室に連れて行って自由に好きな本を選ばせても自分の持つ情報量や知識だけで選ぶ本だけでは、限界があるので先ほども例であげたようなブックトークやビブリオバトル等で様々な本に興味関心を向けさせるような手立ても進めていかなければいけないし、学校はそれができる場と思っています。家庭では、スマホなどに流れてしまって、なかなか本を手にとらないと聞きますので、学校で機会を設けて子供たちが本に親しみを持たせるのは学校の責任の一つであると認識しているところです。

○佐々木教育長

国語の授業である作品に触れて、関連した作品を読むなどその作品の良さ、文学の良さみたいところを教科の中でしっかり押さえていくというのも、すごく大事なことで、そのことと読書の関連は考えていかななくてはいけないと思います。アンケートの中で本を読まない理由として「本を読む時間がない」という意見もありますが、これを子供たちが忙しいからと肯定的な捉え方もあると思うのですが、スマホを使う時間やゲームをする時間について調査をすると、その時間が結構多かったです。どこに子ども達の時間をかけることが大事なのかということを考え、検討しながら本に親しむ時間へのウエイトを上げていくような、子ども達の価値観、意識改革も大事かなと思っています。

○大石委員

読書についての話題の中で少し本筋かずれと思いますが、本読んで読書感想文のようなものはまだあるのかなと気になりまして、もうかなり有名になってますけども生成AIについて、学校教育現場に、多少取り入れていっているのか、またはあえて除外しているのかということが気になっています。使い方によってはとても便利なツールで、会議の内容をきれいにまとめてくれたり、作文をしてくれたりしますので学校現場としてどう捉えているのかということをお教えいただきたいです。

○井手学校教育課長

学校教育の中に生成AIを取り入れてるっていう話はまだ学校のほうから上がって

きておりません。しかし、業務の中で活用したいという先生方からの声は上がってきております。しかし、個人情報等をたくさん扱っておりますので、ガイドラインや規則的な整備がまず先と思っているところです。

○佐々木教育長

他に御質問等ありますでしょうか。それでは子ども子供読書活動推進計画に係るアンケート調査結果について、御了承お願いいたします。先ほども言われておりましたが結果を踏まえて、これからどう活かすかということが大事かと思います。またアンケートの在り方についても、今後検討していただいてさらなる取組を進めていただくようお願いいたします。それでは次に、臨時代理報告第1号、事務局職員の人事について事務局の説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、何か御質問等ありますでしょうか。では臨時代理報告第1号、事務局職員の人事について、報告のとおり御了承をお願いいたします。それでは次に今後の予定について事務局より説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりました。何か御質問等ありますでしょうか。それでは本日の議題につきましては全て終了いたしました。御審議ありがとうございました。これをもちまして、鳥栖市教育委員会1月定例会を終了いたします。